

強い発信力で県政継続

知事選

2021

決戦へ

正

川勝氏陣営

「非常に厳しい選挙戦になる。前回（2017年）、前々回（13年）と立候補になる。岩井氏は比喩ものにならない」

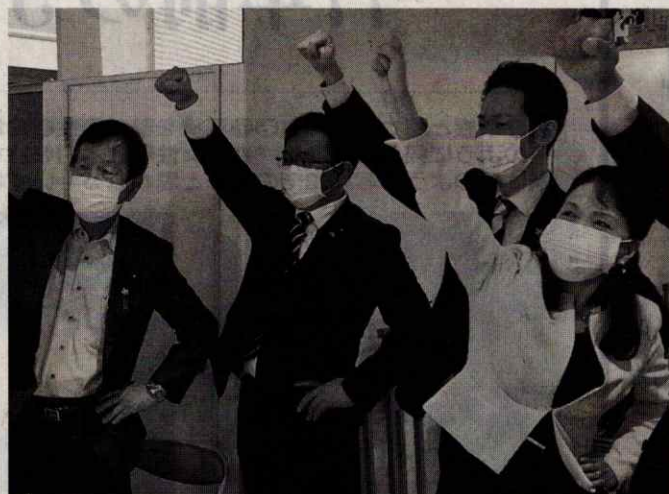
6月3日の知事選告示を前に、4選を目指す無所属の現職、川勝平太氏（72）を支援する県議会第2会派・ふじのくに県民クラブの選対幹部は気を引き締めた。陣営に楽観ムードはない。

自民党本部は5月12日、無所属で新人の元参院議員、岩井茂樹氏（52）の推薦を決定。知事選で08万票、17年選で83万



強い発信力が魅力の川勝平太氏。陣営は83万3000票を目指す＝県庁で

リニア高評価 83万票狙う



川勝氏の陣営は事務所を開設し、知事選に向けて拳を突き上げた＝静岡市で

票を獲得して大勝してきた実績から「選挙に強い」と評価されている。

川勝氏の魅力の一つは、強い発信力だ。3期目の県政の重要課題になっている未着工のリニア中央新幹線南アルプストンネル静岡工区の問題を巡っては、国土交通省やJR東海に対して付度せず、大井川流域住民の思いを代弁する姿勢を買

「リニア問題、新型コロナウイルス問題は長期的に対応する必要がある。川勝氏は政界に推薦を巡る。川勝氏は政界に推薦を巡る。川勝氏は政界に推薦を巡る。」

「リニア問題、新型コロナウイルス問題は長期的に対応する必要がある。川勝氏は政界に推薦を巡る。川勝氏は政界に推薦を巡る。」

「リニア問題、新型コロナウイルス問題は長期的に対応する必要がある。川勝氏は政界に推薦を巡る。川勝氏は政界に推薦を巡る。」

全会一致ではなく、反対や保留の意見もあり、賛否が分かれた。推薦を決定する前、連合静岡の中西清文会長は「3期目の評価をする」と、よい所もあるし、言動に問題もある。首長との確執とか、物の言い方は少し気になる点がある」と注意を促した。

強い発信力は諸刃の剣でもある。失言をした場合、厳しい批判を招く。県立図書館などの整備に関連し、県議に対して「ゴロツキもいる」と語った問題で発言撤回に追い込まれたこともある。日本学術会議の任命拒否問題でも、菅義偉首相の経歴に触れて「教養のレベルが図らずも露見した」と言及。自民改革会議から「学歴差別」と抗議され、発言の一部を撤回した。

それでも、ふじのくに県民クラブは2月に公表した「川勝県政3期目の通信簿」で、10点満点中7・33と及第点を付けた。特にリニア問題は「JR東海に対して一歩も引かず、県民を守る姿勢」を高く評価している。

川勝氏陣営は選対会議で、今回の知事選の得票目標を約83万3000票に設定した。川勝氏の前

回選の得票と同じ票数。選対本部長の阿部卓也県議は「投票率が低下したとしても、この数字だけは死守して勝ちきる」と決意を示した。

【山田英之、金子昇太】

県政の今後4年間のかじ取り役を決める知事選は、6月3日告示・20日投票開票される。決戦の火蓋がまもなく切られる。事実上の一騎打ちになる。とみられる川勝氏と岩井氏の前哨戦の動きを追った。